

目次

[概要](#)

[必要条件は何を設定のためのクラスタですか。](#)

[前提条件](#)

[概要](#)

[要件](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は必要とされる E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のクラスタ処理を設定するための prerequisites および必要条件を記述したものです。

必要条件は何を設定のためのクラスタですか。

前提条件

- クラスタに加入したい各 ESA の有効な中央集中型管理 フィーチャーキー。
- [AsyncOS 8.5.6](#) から開始して、フィーチャーキーがもはや中央集中型管理 機能を有効にするために必要となりません。デフォルトで、中央集中型管理 機能はアプライアンスで有効になります。

概要

中央集中型管理 機能は複数のアプライアンスを同時に管理し、設定することを可能にし管理時間を減らし、ネットワークを渡る一貫した構成を確認します。複数のアプライアンスを管理するための追加ハードウェアを購入する必要はありません。中央集中型管理 機能はローカル ポリシーに従っている間ネットワーク内の高められた信頼性、柔軟性およびスケーラビリティを提供し、グローバルに管理することを許可します。

クラスタは構成情報を共有する一組のマシンと定義されます。クラスタの中では、マシン (Cisco アプライアンス) はグループに分けられます; 各クラスタは少なくとも 1 グループが含まれています。ある特定のマシンは唯一無二の 1 グループのメンバーです。管理者ユーザは cluster-wide、グループ全体の、または毎マシン基礎のシステムの異なる要素をできま、ネットワークに設定、地理学に基づいて、Cisco アプライアンスのセグメンテーション ビジネスユニット、または他の論理関係を有効にします。

注クラスタ処理は ESA 間のロード バランスカルート メールに使用されません。 クラスタ処理は ESA 間のキューか検疫を共有しません。

クラスタはピアツーピアなアーキテクチャとして設定されます; クラスタ内にマスター・スレーブ関係がありません。クラスタを制御し、管理するためにマシンにログインすることができます。

ユーザデータベースはクラスタのすべてのマシンを渡って共有されます。すなわち、たった1組の全体のクラスタのためのユーザおよび1管理者ユーザが(関連するパスワードで)あります。クラスタに加入するすべてのマシンはクラスタの管理者パスワードと言われる単一管理者パスワードを共有します。

要件

- クラスタのアプライアンスは DNS の解決可能なホスト名を備えなければなりません。また、IP アドレスを代りに使用できます 2 を混合しないことができます。
 - クラスタのすべてのアプライアンスは同じ IP インターフェイス名前正確の使用する必要があります。
 - クラスタはアプライアンスから AsyncOS の同じバージョンを実行する完全に成る必要があります。
 - アプライアンスは SSH によってクラスタに加入できます (一般的にによる 22) ポートでまたはクラスタ コミュニケーションサービス (CCS) (2222) ポート。
 - アプライアンスがクラスタに加入したら、SSH またはクラスタ コミュニケーションサービスによって通信できます。使用されるポートは設定可能です。SSH はポート 22 で一般的に有効になり、CCS はポート 2222 にデフォルトであります、しかし異なるポートのこれらのサービスのどちらかを設定できます。
 - アプライアンスのためにオープンにする必要がある正常なファイアウォール ポートに加えて CCS によって通信するクラスタ化されたアプライアンスは CCS ポートによって互いに接続できる必要があります。
 - アプライアンスのクラスタを作成するか、加入するか、または設定するのに CLI コマンド **clusterconfig** を使用して下さい。クラスタを作成したら、GUI または CLI から非クラスタ コンフィギュレーションの設定を管理できます。
- クラスタが設定されれば、完全な **clusterconfig** メニューを表示されます:

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)